

世界最大のフランクフルトモーターショーに出展 - 新ステアリングシステム，電動パワーユニット -

New Steering Systems and Electric Power Pump Unit Exhibited in World's Largest Motor Show in Frankfurt in 1999

21世紀への「環境・省エネルギー・変革と創造」をテーマに、1999年フランクフルトモーターショーが開催(9/16～9/26)された。Koyoグループ会社(光洋精工, SMI, HPI)は、このテーマに基づくコンセプトのもとに、市場展開の広まりと高信頼性の各種電動パワーステアリングシステム、電動油圧パワーユニット等の新製品・新技術を出展し、欧州自動車メーカーをはじめ多くの来場者にKoyoの技術開発力をPRし、注目を集めた。



Koyoの展示ブースは、モーターショーのテーマに則し「環境」を花と緑で、「省エネルギー技術」を各種電動パワーステアリングと電動ポンプで、「変革と創造」をスクリーンやビデオ等を活用してKoyoのイメージを表現したものであった。

ピニオンタイプ電動パワーステアリング(C-EPS)、コラムタイプ電動パワーステアリング(H-EPS)、電動ポンプ式パワーステアリング(C-EPS)および電動油圧パワーユニット等のコーナーでは、一般の来場者を含め連日多くの来場者でにぎわった。

このフランクフルトモーターショーは、乗用車を主体にした開催ではあるが、モーターショーとしては世界最大の規模をほこり、その出展される技術や商品動向は、現実に即したアイテムが多く、世界の自動車産業関係者の関心も高く特に注目を集めている。

今回のモーターショーの特徴は、自動車メーカーの多くが1200ccから1600ccクラスの小型・軽量のコンパクトカーおよびハイブリッドカー・環境・省エネルギー等に配慮した実用車を多数出展したことである。

特に高級車イメージの強い西欧の自動車メーカーも小型コンパクトカーを展示するなど環境・省エネルギーを強調した大々的な展示となった。部品メーカーも軽量化、部品の一体化、ユニット化およびコストダウン等に関する展示が多く、自動車メーカー、部品メーカーともに新しい発想による従来技術の改良・融合等、即対応可能な製品技術の展示が目をつけた。



Koyoブース



ピニオンタイプ電動パワーステアリング(P-EPS)



コラムタイプ電動パワーステアリング(C-EPS)

なお、日本の光洋精工(株)を訪問いただく機会
の少ない欧州の方々などに対しては、ビデオ、
CD-ROM、資料等を使い、総合技術研究所での
全体的な研究開発の取組み紹介や環境を考慮した
省エネルギー化や技術開発への取組み状況、なら
びにSMI、HPIの技術開発への取組み状況を紹介
し、当社の積極的な研究開発活動の一端を紹介し
た。

また、特に別会場で開催された技術フォーラム
でも当社の今後の事業・商品・技術開発方向等
について話題提供し、多くの欧州関係者と意見を交
換する場となった。



技術フォーラム